

いしかわスクエア



井上道義の 未来だった今より

♪ 5年目のラフォルジュルネ

東京よりも絶対似合うと信じたがため、金沢の皆さんを口説き落として始めたラフォルジュルネが5年目を迎えて、初めて大雨にたたられた。東京や金沢の成功で追従し始めた新潟、琵琶湖、鳥栖も大体同じだが、お客様の入りは金沢が一番安定していたのがウレシイ（金沢は84%の売れ行き）、お陰様です！

今回のテーマだったロシア作曲家の一人、プロコフィエフの「シンフォニエッタ」での出来事（5月4日）を報告させていただきたい（僕個人としては、京響と「展覧会の絵」を金沢で演奏できたこと、本場ウラルフィルとの念願のショスタコーヴィチの12番交響曲、ジャズピアノの小曾根真との協奏曲も忘れられないのだが……）。

僕もOEKの楽譜係も全く知らないその20分ほどの初期の作品はタランテラ（毒蜘蛛の名で、刺されたら死ぬまで体が勝手に動く）リズムが支配し、落

ち着いて楽譜も見られないほど転調が続き、演奏家にとって難曲！ 指揮者にとっても神経を最大に使う作品。おまけに軽井沢や東京での演奏があつたため練習から公演まで5日も間が空くスケジュールだった。

俺はこういう時もめげないが、OEKのメンバーも多分全員僕よりめげなかつた！ やるほうは苦しんだが、お客様にはあの曲の持つ不思議な満腹感と、あの時代のソ連のトンガッテノボセタ前衛音楽的せめぎ合いが確実に伝わった。僕は心から感激し、珍しくそれを楽員に伝えさせた。正直言ってOEKに来て初めて同じ船に乗っている感覚だった。

そんな得難い経験をさせた、何でも自分の手中でやりたがる音楽祭プロデューサーの、ルネ・マルタン氏に複雑な気持ちで感謝。

（オーケストラ・アンサンブル）
金沢音楽監督

◆お旅資料展～小松発 平氏と源氏のものがたり～ 27日まで、小松市丸の内公園町の市立博物館（0761・22・0714）。「お旅まつり」に合わせた企画展。まつりの子供歌舞伎で繰り返し演じられてきた源平合戦を題材にした謡曲、淨瑠璃能、歌舞伎などの関連資料を展示する。月曜休館（30日は開館し、5月1日休館）。一般300円、高校生以下無料。6月24

日まで。輪島市水守町の県輪島漆芸美術館（0768・22・9788）。7大学・大学院の卒業生・修了生の作品49点を展示。26日13時半からはギャラリートーク、14時40分からシンボジウムがある。入館料は一般600円、大学生以下無料。

◆春季企画展「いざ！ こまつのむかしを探ろう」 6月24日まで、小松市原町の市埋蔵文化財センター（0761・47・5713）。市内で発掘された旧石器時代から平安時代にかけての遺跡10カ所や江戸時代の小松

園地、輪島市水守町の県埋蔵文化財センター（0768・62・8532）。6月1～7日、金沢市銚子町の県町観光協会（0768・62・8700円、幼児300円）。能登町のイチゴ園は6月15日まで。入園料は中学生以上千円、小学生700円、幼稚園300円。

◆写真展「石川の自然」 6月1～7日、金沢市銚子町の県町立自然史資料館。約30人の自然解説員が、県内各地で撮影した四季折々の動植物や風景などの写真約50点を展示。入場無料。

◆預金で設備購入資金を取得 2・4687・1357）。6月7日～20時、金沢市中央区東山町1丁目1号の金沢市立図書館で開催される「問い合わせ先」電話03・5822・4937

始まる夕方ニュース番組。委員からは「番組の冒頭で、その日に伝えるニュース」について審議した。県内では最も早い時間に「HABスーパーJチャネル」について審議した。

北春千代委員長のほか、表谷千賀副委員長のほか、鈴木紀郎、樺見田美子の各委員が出席した。

はわかりでいい」との意見もあった。

賀副委員長のほか、鈴木紀郎、樺見田美子の各委員が出席した。

ムで今季初の観客指す。試合前には元日本代表の田中誠さん、福西崇史さんのサッカー教室やチャリティーオ

ベルマークだより